

様々な先生方の講義を受けました

我々1年1組はこの2年生への橋渡しの大切な時期に、これからの英語学習を効果的に進められるよう、様々な角度から3人の講師の先生より、そのtips（秘訣）を教えてくださいました。

☆3月2日（木）3・4限

テーマ：「説得のコミュニケーション」

講師：小山 哲春

（京都ノートルダム女子大学教授）

【感想】自分の目標ではなく相手の目標のために話す。「自分のこと」よりも「相手のこと」を理解し、考えることで説得のコミュニケーションができることがこの講義で私の心に残り、今までの考えを覆すようなことが多くありました。少し自分に自信がついたようにも思います。（T.A.）



☆3月6日（月）3・4限

テーマ：「アメリカについて知ろう」

講師：Brooke Spelman（駐大阪・神戸米国総領事館領事）



【感想】ブルック・スペルマン領事の講演を聞き、英語の面白さに気づきました。海外留学は、視野が広がる、適応することを学べる、友達の輪が広がるなど様々な利点があることを知り、いつか留学したいと感じました。（N.N.）

今日、スペルマン領事はいろいろなアドバイスをして下さいました。その中でも冒険することの大切さのお話が印象に残っています。他の人とやり方が異なっても怖がらず、足を一步前に踏み出す勇気が成功する鍵ではないかと思いました。（U.J.）

☆3月9日（木）3・4限

テーマ：「言語習得理論に基づいた4技能を伸ばす英語学習法」

講師：横川 博一

（神戸大学 大学教育推進機構教授）

【感想】私がこの講義で一番興味を持ったのは、**Note-taking** です。何について話されるのか予備知識なしで、類似点や相違点を聞き取ることはとても大変でした。しかし、聞き取った内容を相手に **retell** することはとてもおもしろく感じました。メモの取り方で伝え方が変わるので、相手の **retell** を聞くときは、自分と違った伝え方で、なるほどなあと思いました。今回の講義をきっかけに英語の学習方法を少し変えてみたいと思います。（T.H.）

